

令和6年度防災・環境対策特別委員会県外視察の概要

1 参加委員

木下 賢功（委員長）、岡田 理絵（副委員長）、長池 文武、竹内 義了、
沢本 勝彦、扶川 敦、曾根 大志

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
1月14日（火）	三井住友海上火災保険株式会社（東京都千代田区）
	内閣府（東京都千代田区）
1月15日（水）	株式会社日立製作所大みか事業所（茨城県日立市）

3 調査目的及び視察概要

（1）三井住友海上火災保険株式会社

（調査目的）

大規模災害発生時、公共交通機関の運行停止や大規模な渋滞により、多数の帰宅困難者が発生することが考えられるが、行政機関による「公助」に限界があることから、可能な限り「自助」を前提としつつ「共助」も含めた総合的な対応が不可欠である。

三井住友海上火災保険株式会社は、社員を帰宅困難者にさせないためのマニュアル策定と帰宅困難者受入態勢の整備や東京都と「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結するなど、様々な対策を行っている。

これらを踏まえ、大規模災害発生時の帰宅困難者対策の取組等について調査する。

（視察概要）

三井住友海上火災保険株式会社における大規模災害発生時の帰宅困難者対策の取組等について説明を受けた後、意見交換を行いました。



(2) 内閣府

(調査目的)

令和6年8月8日に日向灘で発生したマグニチュード7.1の地震に伴い、「南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられる」と評価され、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された。

このことを受けて、内閣府では、自治体・事業者向けのアンケートの実施や、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループにおいて、効果の検証や今後の課題についての議論などが行われている。

これらを踏まえ、南海トラフ地震臨時情報の対応状況と課題等について調査する。

(視察概要)

南海トラフ地震臨時情報の概要と昨年発表した南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の対応状況、今後の改善方策等について説明を受けた後、意見交換を行いました。



(3) 株式会社日立製作所大みか事業所

(調査目的)

カーボンニュートラルへの取組が急務となった今、日立製作所では事業成長と環境負荷低減の両立に向けてさまざまな取組を行っている。

大みか事業所で実施している脱炭素支援ネットワーク「大みかグリーンネットワーク」では、大みか事業所をフィールドにさまざまな実証を行い、脱炭素化に関する技術・ノウハウを蓄積している。また、大みか事業所をハブとして、地域・サプライチェーンのステークホルダーと連携した実証や取組も進めている。

大みかグリーンネットワークによる脱炭素化に向けた取組について調査する。

(視察概要)

日立製作所大みか事業所が実施している、大みかグリーンネットワークなどの脱炭素化に向けた様々な取組について説明を受けた後、現地視察を行いました。

